事業所名　グループホームめぐみの丘Ⅱ
作成日：　平成　25年　7月　9日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	60	利用者の戸外出機会について積極的取組みに欠ける点がある。	一人ひとりの外出要望をきちんと把握し、希望者については週1回の散歩・買物の実施。	スタッフ間のシフト調整を図りながら1対1、2対2といった小単位からのスタートを検討。外部ボランティアの活用も検討、視野に入れる。	6ヶ月
2	64	事業所の存在、業務PR認知的働き掛けが弱い。地域の中でのオープン性弱い。	運営会議を利用しての情報収集及びPRを積極的に行う。積極的情報発信図る。	昨年来、徐々に実施している。地域イベントetcに積極的に参加し、又招待したりして理解を求める。	12ヶ月
3	66	職員・スタッフの連携、チーム協調性に潜在的障害が見受けられている。	ベテラン・新人の考え方、理解～実践の相違の解消。目的、理念の徹底。	介護の目的、理念、働くことの意味、又社会的一般通念の徹底教育・個別指導図る。	6ヶ月
4	13	職員を育てる取組みについて、スタッフ間で不安あり。	私情が表出するシーンもあり、きちんとした役割確認の教室と教育環境整備。	昨年以降強化している。外部研修への全員参加を目指し認識度の均一化、共有化図る。	3ヶ月
5	21	利用者同士の関係性の支援を強化する必要有り。	利用者日々のヒアリング、アセスメント、エビデンスの整備を図る。	カンファ、小規模、連絡ノート、引越時の案件を通して、対応策（具体的に）検討。	3ヶ月

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	27	個別の記録と実践への反映という問題。	個人情報、口腔ケア、服薬記録、連携ノート、カンファ記録、読解もれの解消。	管理者のチェック強化、個別指導の徹底。	2ヶ月
7	29	地域資源との協働という点へのアプローチ（不足）	開かれた事業所を目指すと共に、社会的資源への接近、地域との共生の追求。	スタッフ個々の認識のレベルアップを図り、政策、行政の方向性の教育を指導していく。 今後の事業所の地域でのあり方や、我々の取組みが行政の指導である。地域でどう共生連携して、介護者並びに高齢社会で生きていくのか！の会議・検討を順次実施していく。	12ヶ月